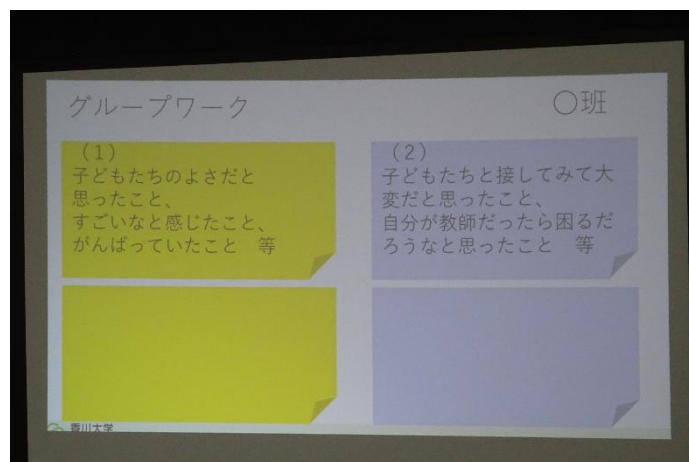


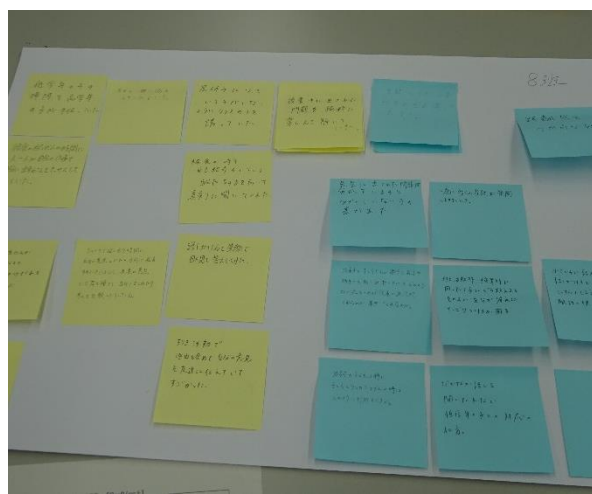
香川大学教育学部からの出前講座④（１年） を実施しました

９月１６日、香川大学教育学部から清水顕人先生をお招きし、「子どもとかかわるときに一番大切にしたいこと」というテーマで、教育創造コースの１年生にご講義をいただきました。

その中で、１学期に香川大学附属坂出小学校で行った２回の支援活動の振り返りを中心としたグループワークを行いました。



給食支援や昼休みの関わり、清掃支援の活動を写真とワークシートを用いて振り返った後、「子どもたちのよさだと思ったこと、すごいと感じたこと」を黄色の付箋に、「子どもたちと接してみて大変だと思ったこと、自分が教師だったら困るだろうと思ったこと」と青色の付箋に書き出し、班内で話し合い、整理してみました。



最後に、清水先生が子どもとかかわるときに一番大切にしていることを教えていただきました。それは「**子どもを知ること**—大村はま（国語教師・国語教育研究家）の言葉」と「**関心をもって『見守る』こと**—河合隼雄（心理学者・教育学博士）の言葉」でした。今日の振り返りを今後の支援活動で活かします。

清水先生、今日は本当にありがとうございました。